

横浜とシルク

～横浜に残る生糸の遺産～

C-1-1-4
養蚕製糸

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、生徒
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】
筆記用具
など

【準備】 地図 付箋 シール
キット 4-0 4-1-1 4-1-2 4-1-3 3-0-1-1
3-0-2 3-0-3 2-12

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 開港当時の横浜港の主要な輸出品が生糸だったことを、最初の新聞から知る。
- ② 次の場所や人物・ものについて資料等を使って調べる。
旧生糸検査所・ 大棧橋・ 氷川丸・シルク博物館・ 横浜赤レンガ倉庫
原善三郎・ 原三溪 ・中居屋重兵衛 ・ 横浜線
- ③ 生糸の輸出によって横浜が発展していったことを理解したうえで、観光イラストマップ等から横浜と生糸の関係がしのばれる場所を新聞記事資料から探しシールを貼る。
- ④ 完成したものをみて、観光コース「横浜シルク散歩（仮）」を作り、発表する。

【 その他 】 生糸の輸出によって発展した横浜について学びます。生糸の取引によって巨万の富を得た豪商たちの存在と、日本最初の新聞の主要記事が生糸だったことは深い関係があります。調べたことを旅行コース作りで発表していく活動は、遠足や修学旅行に役立ちます。